

交差点事故防止の一声を！

～交差点 重大事故の多発箇所 安全確認は確実に～

対人事故の約 36%は交差点およびその付近で発生しています。このうち死亡事故や重傷事故に繋がりがやすい、二輪車、自転車、歩行者との事故が約 48%占めています。

事故の形態を見ますと、

交差点を右折時、対向車のパッシングにより右折したところ、対向車の陰から直進してきた二輪車と衝突

交差点で、対向車が来る前にと急いで右折したら、右側から横断してきた歩行者と衝突

交差点を左折時、左側から進行してきた自転車を巻き込み轢過

等、いずれもあわてずに、一呼吸おいて安全確認をしていれば防げる事故ばかりです。

運行管理に当たる皆さんが、ドライバーに緊張感を高め、持続させるための“一声”を積極的に掛けていただき、全員が無事故で帰社できるようご配慮をお願いします。

<交差点事故防止の声掛け例>

交差点手前では早めの減速を

～交差点では信号の切り替わりや前方車両の停止等に備え、早めの減速を行い、いつでも停止できるようにしましょう。

「...かもしれない」運転で危険予測を

～交差点では、「前方車両が停止するかもしれない」、「歩行者が飛び出すかもしれない」等と危険を予測し、危険に備えた防衛運転をしましょう。

相手が進路を譲ってくれても、安全確認は確実に

～対向車両に進路を譲られても、慌てず急がず、一呼吸置く気持ちで安全確認を徹底しましょう。

交差点では、危険予測を持って運転を

～交差点は、安全確認する対象が多い場所です。危険意識を持って安全確認をしましょう。

死角を意識しての安全確認を

～トラックは、サイドやアンダーミラー、助手席の窓から見える範囲は限られています。死角を意識し、顔を動かすなどして確実な安全確認をしましょう。